

LPガスCP速報(2020年10月積)

1. 10月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **375** ^{ドル} (前月比+10 ^{ドル})

ブタン **380** ^{ドル} (前月比+25 ^{ドル})

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が軟調に推移するなか、LPガス需要は、需要期を控えインド、中国の引き合いが強まり市況を下支えした。欧米のブタン高や中国の石化需要、インドの在庫積み増しなどブタン付カーゴの需要が増加、プロパン・ブタン格差は縮小、一時ブタン高が顕著になった。極東CFR市況は第3週にプロパン、ブタン380 ^{ドル}まで上昇、アジアの需要増と米国の悪天候による荷役遅延などによりタイト感から市況は続騰している。

全米プロパンは、輸出、需要が堅調に推移、高水準だった全米プロパン在庫は減少し5年平均レンジに収まった(グラフ②)。米モンベルビュープロパンスポット価格は堅調に推移したが、原油価格に連れ安、前月比15 ^{ドル}下落の256 ^{ドル}/トニック(グラフ①)。

フレート市況は堅調に推移。中東積みの備船増も供給増で上値は重く、米国運賃高、台風の影響により一時船舶需給が引き締まったが、月間平均では前月比5 ^{ドル}の反落となった。

ナフサは原油価格に追随、月間平均は395 ^{ドル}どころで、前月比4 ^{ドル}の下落。

バンカーオイルも原油市況に追随して軟化。シンガポールIFO380は月間平均で前月比16 ^{ドル}安の272 ^{ドル}どころ、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)は同38 ^{ドル}下落の346 ^{ドル}どころ、両油種の格差は74 ^{ドル}に縮小した。

10月CPは前年同月比プロパン45 ^{ドル}、ブタン55 ^{ドル}安。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン9、ブタン14ポイントそれぞれ上昇、前年同月比ではプロパン26ポイント、ブタン25ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	54.2	56.8	54.3	54.1	54.9
CP先物指標：P	365	350	365	370	363
CP先物指標：B	365	345	370	365	361

② 原油市況等

原油市況をみると、9月は42 ^{ドル}台でスタートしたが、レイバーデイの連休明け後36 ^{ドル}台に急落、下旬には40 ^{ドル}を挟んだ狭いレンジで推移した。世界的な新型コロナ感染再拡大で一部移動制限措置もとられ需要下振れ懸念が上値を重くする展開が続いた。OPECプラスは協調減産遵守を促したが、イラクの増産、リビアの輸出再開で供給過剰への警戒感も強い。米石油リグ稼働数は前年比75%減と低迷も原油生産量はハリケーンの影響から1,070万b/dまで回復、製油所稼働率は定修で低水準が続いているが、輸入減と輸出増で在庫は5億バレルを下回った。一方、レイバーデイでガソリンシーズンが終了、留出油も含め8~9%の減少が続くジェット燃料は前年比45%減、コロナショックからの回復は遅れている。

一方、CFTC発表の大口投機玉の買越残高は22日時点では473千枚、前月末から18千枚減少。買い建玉は65万枚、当業者の売建玉とともに減少している。金融市場は過剰流動性でバブルの様相だが、実態経済とは乖離、米大統領選を控えて調整局面も現れ、ボラティリティが高くなっており、エネルギー市場への影響も避けられなくなっている。

○9月積みアラビアン・ライト(9月1~29日までの想定)は42.40 ^{ドル}(前月比-2.95 ^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン347.64 ^{ドル}/トニック ブタン342.87 ^{ドル}/トニック

AL比 プロパン107.87% ブタン110.83%

*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

2. 2020年10月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	106.93	45,300	45,000	45,100	+500	+1,900	-100
②末日締め	106.76	39,500	39,200	39,200	+400	+1,700	-200

*TTS平均について、①が8月21日～9月20日、②9月1～30日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①、②ともにCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは9月28日までの価格を基にEINで試算（256ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

①米MBプロパンスポット価格推移



②全米留出油・プロパン輸出推移とプロパン在庫推移

